報告２

市立高等学校・専門学校改革について

令和４年（2022 年）５月２６日
学校改革推進課

１　千原台高校

（１）学科改編

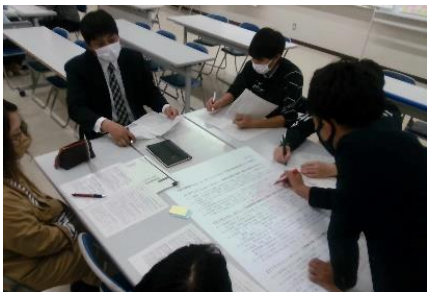
現行	千原台高校校長提案 （Ｒ４年３月）	改編内容 （＝基本計画）
情報科（40 人×3 学級=120 人） 経営情報コース ＯＡ会計コース	情報ビジネス探究科 （30 人×3 学級=90 人） 情報コース ビジネスコース	情報ビジネス探究科 （30 人×4 学級=120 人） 情報コース ビジネスコース
普通科（40 人×2 学級=80 人） 国際経済コース 健康スポーツコース	健康スポーツ探究科 （30 人×2 学級=60 人）	健康スポーツ探究科 （40 人×1 学級=40 人）
１学年計　200 人、5 学級	１学年計　150 人、5 学級	１学年計　160 人、5 学級

各学科のクラス数に関し、千原台高校校長の提案内容について、
　〇探究的な学習を推進するため学校全体で少人数学級にすることができる
　〇体育科と比べると商業科及び情報科教員の確保に課題がある
　〇特別教室棟改築及びグラウンドの拡充により両学科にとって充実した教育環境の整備が可能
といった理由から検討したが、
　〇商業高校としての伝統を守ることができる
　〇現状の普通科健康スポーツコースの出願倍率を考慮すると、60 人の定員充足に課題がある
　〇基本計画案では、クラス数の変動はあるものの、情報ビジネス探究科・健康スポーツ探究科ともに生徒数の変動はなく、出願倍率（情報　前期：2.23、後期：1.33　、健康　前期：2.35、後期：1.05）を考慮すると現行のニーズに対して十分に対応できる
などの理由により、基本計画どおりの改編内容とした。ただし、
　〇健康スポーツ探究科が 40 人学級となる
　〇商業科目の授業時数増加に伴う教員の確実な採用
　〇現在でも使用率の高い PC 室等の専門教室の確保
という課題も残ることから、
　〇授業編成の工夫により、現在も行っている少人数指導を更に充実する
　〇教員採用のための積極的な広報活動
　〇新校舎の着実な整備や学科改編に伴い使用頻度の下がるＬＬ教室等の転用
などの対応を行っていく。
更に、変化の激しい社会にあって、市民のニーズや高校卒業後の進路状況等を踏まえ、今回の改編の効果を毎年度検証し、募集定員や学科・コースの在り方についても必要に応じて見直す仕組みを構築する。また、学校内部で改革を推進する仕組みづくりと事務局の支援体制もあわせて検討する。

（２）校内検討組織

令和４年度に、学校改革を推進、探究的な学習の研究・計画・推進し、学校の活性化を図るための校内組織として「魅力づくり部」を発足した。

４月１４日(木)、２１日（木)、5月１２日(木)には、魅力づくり部による職員研修を実施し、改革後の千原台高校のスクール・ポリシー策定に向けた検討を行った。スクール・ポリシーについては、５月１７日（火）の職員会議で決定した。



（職員研修グループ協議）

その後も学科改編等について、５月１７日（火)、１９日（木)、２４日（火）に職員会議を行い、学校としての意見を整理した。

（３）スクール・ミッション（案）

新しい時代の高等学校教育の実現に向けた制度改正等により、各高等学校においては三つの方針（いわゆる「スクール・ポリシー」）を策定・公表することとなった。

この三つの方針を策定する前提として、高等学校の設置者においては、学校の存在意義や期待される社会的役割、目指すべき学校像をスクール・ミッションとして再定義することが求められているため、以下のように整理したもの。

《千原台高校スクール・ミッション（案)》

熊本市教育振興基本計画に掲げる基本理念のもと、熊本市立の情報ビジネス探究科と健康スポーツ探究科を有する高校として、多様な価値観を尊重する態度や新たな価値を創造する意志を備え、情報・ビジネス・健康・スポーツに関する高い専門性を活かし、熊本市の未来を拓くリーダーを育成します。

そのため、社会に関する理解を深め、地域の課題や魅力を見出し、自己の興味関心に応じた学びを探究的に進めることを通して、生涯にわたって学び続ける力を育むことを目指します。

今後は、多様な生徒一人ひとりが充実した学びを得られるよう、市長事務部局、市立専門学校、大学、企業等と連携・協働し、ＰＢＬ学習(課題解決型学習)や科学的トレーニング等の実践的・体験的学習を推進するほか、生徒が主体的に学校づくりに参画する機会の拡充に取り組みます。

※スクール・ミッションについては、別途議決を求めるため議案を提出。

（４）スクール・ポリシー（案）

高等学校における入学者選抜から卒業時までの教育活動を一貫した体系的なものとするため、学校教育法施行規則第 103 条の 2 の規定に基づき、各高等学校が策定・公表するものである。

内容については、（３）スクール・ミッション（案）を踏まえ、千原台高校内で魅力づくり部を中心に検討をしたものである。

グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）	・校訓である「誠実・創造・友愛」のもと、誰からも愛され、社会から必要とされるような豊かな人間性と生きる力を涵養する ・これからの多様に変化する時代に対応するため、柔軟な思考力と実践力などを備え、自らの未来と熊本市の未来をともに切り拓いていく人材を育成する ・情報・ビジネスに関する専門的な知識・技能を身につけ、実社会が求める社会人基礎力とともに、熊本市の経済発展に貢献できる人材を育成する〔情報ビジネス探究科〕 ・健康・スポーツに関する専門的な知識・技能を身につけ、全国や世界レベルの競技力とともに、熊本市のスポーツ振興に貢献できる人材を育成する〔健康スポーツ探究科〕
カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）	・これからの時代に対応するための柔軟な思考力と実践力などを身につけるために、探究的な学びに力を入れて取り組む ・地域、行政、企業、大学などと連携・協働しながら、体験的かつ実践的な学びを継続的に取り入れた課題解決型学習に取り組む ・豊かな人間性と生きる力を育むために、生徒が主体的かつ協働的に参画できる学校行事や部活動、生徒会活動などの実践に取り組む ・１人１台の情報端末をさまざまな場面で活用し、主体的・対話的な学びのある授業を全教科で取り組む ・情報・ビジネスに関する専門性の高い学習や IT パスポート試験、日商簿記などの資格取得に取り組む〔情報ビジネス探究科〕 ・科学的見地に基づいた健康・スポーツに関する専門性の高い学習を通して、生涯スポーツの担い手及びトップアスリートの育成に取り組む〔健康スポーツ探究科〕
アドミッション・ポリシー （入学者の受入れに関する方針）	・基本的生活習慣並びに中学校までの基礎学力が身についており、健康・スポーツ、情報・ビジネスに高い興味や関心を持つ生徒 ・郷土を愛し、将来熊本市の発展にさまざまな形で貢献したいと考えている生徒 ・学校行事や部活動、生徒会活動などに意欲的に取り組む生徒 ・新しいことに積極的に挑戦し、これまでにない価値を創造しようとする探究心旺盛な生徒

※カリキュラム・ポリシーに基づく具体的な教育課程（開設科目）は４頁参照

（校内検討委員会を中心に令和４年６月完成を目指す）

（５）その他

高校・専門学校・大学間連携、科学的トレーニング機材導入、旧校舎（特別教室棟）改築及びグラウンド拡充に向けた協議を実施している。

令和5年度　熊本市立千原台高等学校　教育課程（案）

校内教育課程検討委員会を中心に、科目編成を行い、令和4年6月完成を目指す。

情報ビジネス探究科（情報コース）

必履修科目（34）　普通科目（17）　選択（普通・専門）科目（4）　専門科目（26）　探究（6）　LHR（3）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語（2）		言語文化（2）		公共（2）		数学Ⅰ（3）			科学と人間生活（2）		英語コミュニケーションⅠ（3）			保健（1）	体育（2）		ビジネス基礎（2）		簿記（4）				情報処理（4）			探究Ⅰ（2）		LHR（1）
2年	地理総合（2）		家庭基礎（2）		音楽Ⅰ（2）		保健（1）	体育（2）		論理国語（2）		数学Ⅱ（2）		英語コミュニケーションⅡ（3）				ソフトウェア活用（4）				プログラミング（3）		マーケティング（2）		ﾋﾞｼﾞﾈｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（2）		探究Ⅱ（2）		
3年	歴史総合（2）		生物基礎（3）			体育（3）			論理国語（3）			数学Ⅱ（2）		英語コミュニケーションⅢ（3）				※数学A ※音楽Ⅱ ※論理・表現Ⅰ （2）		※ネットワーク活用（2） ※観光ビジネス（2） ※ビジネス法規（2） ※化学基礎（2） 上記から2科目選（4）				総合実践（3）		課題研究（2）	探究Ⅲ（2）		

情報ビジネス探究科（ビジネスコース）

必履修科目（34）　普通科目（17）　選択（普通・専門）科目（4）　専門科目（26）　探究（6）　LHR（3）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語（2）		言語文化（2）		公共（2）		数学Ⅰ（3）			科学と人間生活（2）		英語コミュニケーションⅠ（3）			保健（1）	体育（2）		ビジネス基礎（2）		簿記（4）				情報処理（4）			探究Ⅰ（2）		LHR（1）
2年	地理総合（2）		家庭基礎（2）		音楽Ⅰ（2）		保健（1）	体育（2）		論理国語（2）		数学Ⅱ（2）		英語コミュニケーションⅡ（3）				財務会計Ⅰ（4）				原価計算（3）		マーケティング（2）		商品開発と流通（2）		探究Ⅱ（2）		
3年	歴史総合（2）		生物基礎（3）			体育（3）			論理国語（3）			数学Ⅱ（2）		英語コミュニケーションⅢ（3）				※数学A ※音楽Ⅱ ※論理・表現Ⅰ （2）		※財務会計Ⅱ（2） ※観光ビジネス（2） ※ビジネス法規（2） ※化学基礎（2） 上記から2科目選択（4）				総合実践（3）		課題研究（2）	探究Ⅲ（2）		

健康スポーツ探究科

必履修科目（30）　普通科目（22）　選択（普通・専門）科目（4）　専門科目（25）　探究（6）　LHR（3）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語（2）		言語文化（2）		公共（2）		数学Ⅰ（4）				科学と人間生活（2）		英語コミュニケーションⅠ（3）			情報Ⅰ（2）		保健（1）	体育	※スポーツⅠ ※スポーツⅡ （5）					スポーツ総合演習（2）		スポーツと科学（1）	概論（1）	スポーツ	探究Ⅰ（2）		LHR（1）
2年	地理総合（2）		歴史総合（2）		家庭基礎（2）		音楽Ⅰ（2）		保健（1）	論理国語（2）		数学Ⅱ（2）		英語コミュニケーションⅡ（3）				※数学A ※論理・表現Ⅰ （2）		※スポーツⅠ ※スポーツⅡ （5）					スポーツ総合演習（2）		スポーツと科学（1）	概論（1）	スポーツ	探究Ⅱ（2）		
3年	生物基礎（3）			論理国語（3）			※地理探究 ※世界史探究 ※日本史探究 （4）				数学Ⅱ（3）			英語コミュニケーションⅢ（3）				※スポーツと栄養 ※倫理 ※政治・経済 ※化学基礎 ※論理・表現Ⅱ ※音楽Ⅱ 上記から2科目選択（4）				※スポーツⅠ ※スポーツⅡ （5）					スポーツ総合演習（1）	スポーツ概論（1）		探究Ⅲ（2）		

2　総合ビジネス専門学校

（1）教育課程

総合ビジネス専門学校　令和5年度教育課程(案)

※ 教育課程(案)は、1コマ50分、1日6コマ、週30単位時間で、昼間の部のみで計画している。 夜間については次頁。
1　卒業後の進路を見据え、起業・経営、一般企業への就職等に必要な資質や能力を育成する。
　今後社会の中で必要とされるウェブ、メディア関係のスキルを身に付ける。(履修モデル・類型等の見せ方については、募集説明会までに整理する)
2　科目は、共通科目(全員が履修)、選択科目1、選択科目2を準備する。
3　選択科目1、選択科目2については、履修制限を設ける(要調整)。
4　大学編入を見据え、小論文対策、面接対策、英語対策の科目を準備する。
5　共通科目:インターンシップ(1年次)は、実施期間に応じて単位を認定(1～4単位)する。

	30単位選択	科目名	開設	単位	科目名	開設	単位	科目計	
1年前期	共通科目	アントレプレナーシップ入門	前	2	オフィス基礎	◎	3	共通科目合計 10	
		キャリアデザインⅠ	◎	1	商業簿記	◎	2		
		サービス接遇	◎	1	情報リテラシー	◎	1		
		インターンシップ※5							
	選択科目1	法務税務財務入門	◎	3	ドローン活用Ⅰ	前	2	選択科目1合計 26	20単位選択
		起業演習Ⅰ	前	4	SNS活用Ⅰ	◎	2		
		マーケティング	◎	2	プレゼンテーション演習	前	2		
		ウェブデザイン基礎	◎	3	画像編集Ⅰ	◎	2		
		プログラミングⅠ	◎	2	音声編集	◎	2		
					動画制作演習Ⅰ	前	2		
	選択科目2	論文指導Ⅰ(大学編入対策)※4	前	2	ITパスポートⅠ	前	4	選択科目2合計 37	
		プレゼンテーションⅠ(大学編入対策)※4	前	1	オフィス応用Ⅰ	前	2		
		英語Ⅰ(大学編入対策)※4	前	2	簿記演習Ⅰ	前	4		
		観光英語Ⅰ	前	2	税務会計Ⅰ	前	2		
		中国語Ⅰ	前	4	工業簿記Ⅰ	前	4		
		韓国語Ⅰ	前	4	ビジネス実務Ⅰ	前	2		
		ホテル総論Ⅰ	前	2	医療事務	前	2		
1年後期	共通科目	ビジネスプランニングⅠ	後	2	オフィス基礎	◎	3	共通科目合計 10	
		キャリアデザインⅠ	◎	1	商業簿記	◎	2		
		サービス接遇	◎	1	情報リテラシー	◎	1		
		インターンシップ※5							
	選択科目1	法務税務財務入門	◎	3	ドローン活用Ⅰ	後	2	選択科目1合計 26	20単位選択
		起業演習Ⅰ	後	4	IT活用Ⅰ	後	2		
		マーケティング	◎	2	SNS活用Ⅰ	◎	2		
		ウェブデザイン基礎	◎	3	画像編集Ⅰ	◎	2		
		プログラミングⅠ	◎	2	音声編集	◎	2		
					動画制作演習Ⅰ	後	2		
	選択科目2	論文指導Ⅰ(大学編入対策)※4	後	2	ITパスポートⅠ	後	4	選択科目2合計 37	
		プレゼンテーションⅠ(大学編入対策)※4	後	1	オフィス応用Ⅰ	後	2		
		英語Ⅰ(大学編入対策)※4	後	2	簿記演習Ⅰ	後	4		
		観光英語Ⅰ	後	2	税務会計Ⅰ	後	2		
		中国語Ⅰ	後	4	工業簿記Ⅰ	後	4		
		韓国語Ⅰ	後	4	ビジネス実務Ⅰ	後	2		
		ホテル総論Ⅰ	後	2	医療事務	後	2		

	30単位選択	科目名	開設	単位	科目名	開設	単位	科目計	
2年前期	共通科目	キャリアデザインⅡ	◎	1				共通科目合計 3	
		ビジネスプランニングⅡ	前	2					
	選択科目1	起業演習Ⅱ	前	4	プログラミングⅡ	◎	2	選択科目1合計 36	27単位選択
		ビジネスモデル分析	◎	3	IT活用Ⅱ	前	4		
		マーチャンダイジング	前	2	ドローン活用Ⅱ	前	2		
		会計ビジネスゲーム	前	2	SNS活用Ⅱ	前	2		
		eコマース	前	4	画像編集Ⅱ	◎	3		
		ウェブデザイン応用	◎	3	動画作成演習Ⅱ	前	3		
		アプリ開発	前	2					
	選択科目2	論文指導Ⅱ(大学編入対策)※4	前	2	ITパスポートⅡ	前	4	選択科目2合計 41	
		プレゼンテーションⅡ(大学編入対策)※4	前	1	観光英語Ⅱ	前	2		
		英語Ⅱ(大学編入対策)※4	前	2	中国語Ⅱ	前	4		
		ビジネス実務Ⅱ	前	2	韓国語Ⅱ	前	4		
		医療事務	前	2	簿記演習Ⅱ	前	4		
		日本の歴史と文化	前	2	税務会計Ⅱ	前	2		
		熊本観光・産業	前	2	建設業簿記	前	2		
		ホテル総論Ⅱ	前	2	工業簿記Ⅱ	前	2		
					オフィス応用Ⅱ	前	2		
2年後期	共通科目	キャリアデザインⅡ	◎	1				共通科目合計 7	
		ビジネスプランニングⅡ	後	2					
		卒業研究	後	4					
	選択科目1	起業演習Ⅱ	後	4	プログラミングⅡ	◎	2	選択科目1合計 32	23単位選択
		ビジネスモデル分析	◎	3	IT活用Ⅱ	後	4		
		会計ビジネスゲーム	後	2	ドローン活用Ⅱ	後	2		
		eコマース	後	4	画像編集Ⅱ	◎	3		
		ウェブデザイン応用	◎	3	動画作成演習Ⅱ	後	3		
		アプリ開発	後	2					
	選択科目2	論文指導Ⅱ(大学編入対策)※4	後	2	ITパスポートⅡ	後	4	選択科目2合計 41	
		プレゼンテーションⅡ(大学編入対策)※4	後	1	観光英語Ⅱ	後	2		
		英語Ⅱ(大学編入対策)※4	後	2	中国語Ⅱ	後	4		
		ビジネス実務Ⅱ	後	2	韓国語Ⅱ	後	4		
		医療事務	後	2	簿記演習Ⅱ	後	4		
		日本の歴史と文化	後	2	税務会計Ⅱ	後	2		
		熊本観光・産業	後	2	建設業簿記	後	2		
		ホテル総論Ⅱ	後	2	工業簿記Ⅱ	後	2		
					オフィス応用Ⅱ	後	2		

（２）科目等履修生・聴講生の受入れ、夜間開講について

現行の一般課程（夜間ＯＡ経理科）は、令和４年度末にて廃止（条例改正済）。令和５年度からは、昼間の一部科目を夜間にも開講し、科目等履修生及び聴講生として受け入れることで、社会人や、高度な資格取得を目指す高校生の学習ニーズに対応することとしている。また、条例改正においては、市立高等学校の在校生が、科目等履修生又は聴講生となる場合には、受講料等を減免できる規定を設けている。

なお、科目等履修生や聴講生は、条件等が合えば昼間に開講する科目についても受け入れる予定としている。

夜間開講の概要については、以下のようなに検討しているところ。

① 開講場所

総合ビジネス専門学校、くまもと森都心プラザ　びぷれすイノベーションスタジオ　他

② 開講時間（授業時間）

・１９：００～１９：５０

・２０：００～２０：５０

③ 開講期間・実施月

・４月～７月

・９月～１２月

	開講科目	内容・資格	時数/回	日数/週	時数/週	期間	実施月
1	簿記	日商２級	2h	2日	4h	４カ月（60h）×2回	①４～７月 ②９～12月
		日商３級	2h	2日	4h		
2	英会話（初級）	トラベル英会話（観光・接客）	2h	1日	2h	４カ月（30h）×1回	②９～12月
3	Excel	ＭＯＳ検定	2h	1日	2h	４カ月（30h）×2回	①４～７月 ②９～12月
4	画像処理	Photoshop Illustrator	2h	2日	4h	４カ月（60h）×2回	①４～７月 ②９～12月

※起業家育成等、その他の講座については、単発の企画講座（出張講座、公開講座）を実施していく中でニーズを見極め開講を検討

※大学３年次編入や高校生向けの科目についても、あわせて検討を行う

3　必由館高校

（１）検討状況

・令和４年（2022 年）１２月の基本計画策定を見据え、改革の方向性について必由館高校と学校改革推進課で改革案の検討を行った。

・必由館高校において、校内にプロジェクトチームを立ち上げ、定期に会議を実施。（学校改革推進課職員参加）

・引き続き、校内プロジェクトチームにおいてスクールポリシーや学科・コースの在り方に関する協議を行い、協議内容については随時全教職員で共有。

（２）改革の方向性（案）

《改革の理念、三つの特色》

素案で示した改革の理念及び三つの特色は、本市の教育理念の方向性と合致するものであるため、当初案のとおりとする。

改革の基本理念	自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校へと改革する
三つの特色	Ⅰ 「市立ならでは」の特色ある学校 Ⅱ 探究的な学びを推進し、社会と積極的にかかわっていく学校 Ⅲ 生徒が主体的に学校づくりに参画する学校

《教育理念、学科編成等》

項目	現行	教育委員会事務局案 （令和３年５月報告内容）	学校提案 （令和３年１１月報告内容）
教育理念	校訓（至誠、進取、和敬）に学び、魅力と特色ある学校をめざす	世界的視野と課題解決能力を有するグローバル・リーダーを育成する	文武両道の校風のもと、多様な個性を尊重しながら主体的に生きる力を育成する
募集定員	360 名	210 名	324 名
学科 コース ※数は１学年あたり、名称は全て仮称	○ 普通科 ９ｸﾗｽ ・普通 ６ｸﾗｽ ・国際コース １ｸﾗｽ ・芸術コース １ｸﾗｽ ・服飾デザインコース １ｸﾗｽ	○ グローバル探究科 ５ｸﾗｽ ○ 芸術探究科 ２ｸﾗｽ（音楽・美術・書道・服飾デザインの４コース） ※学科名は仮称	○ 普通科 ９ｸﾗｽ ・普通探究ｺｰｽ ７ｸﾗｽ ・芸術探究ｺｰｽ １ｸﾗｽ ・生活探究ｺｰｽ １ｸﾗｽ ※コース名は仮称
学級 編制	40 人学級	30 人学級	36 人学級 ※段階的に募集定員を減じることについて継続的に検討

《基本計画策定》

令和４年（2022 年）１２月の基本計画策定に向け、引き続き協議・検討を行う。この取組と並行して、「スクールミッション」、「学科編成」、「教育課程編成」等も検討を進める。附属中学校設置についても並行して研究を進める。

《見直しの仕組み》

変化の激しい社会にあって、市民のニーズや高校卒業後の進路状況等を踏まえ、今回の改編の効果を毎年度検証し、募集定員や学科・コースの在り方についても必要に応じて見直す仕組みを構築する。また、学校内部で改革を推進する仕組みづくりと事務局の支援体制もあわせて検討する。

4　今後のスケジュール（高等学校・専門学校改革）

年度	月	千原台高校	総合ビジネス専門学校	必由館高校
4	5	▸１２日　クラス編成について職員研修 ▸教育委員会会議にてスクールミッション・クラス編成の報告 ▸総合ビジネス専門学校・大学・企業地域連携検討（～３月）	▸非常勤講師等調整 （～１１月）	▸学科編成（～６月）
	6	▸令和６年度入学者選抜学力検査見本問題契約・作成（～12 月） ▸令和５年度教育課程完成 ▸第Ⅱ期工事（設計契約等）		▸議会へ検討状況報告 ▸教育委員会会議にて「学科編成（方向性）」について事務局案として提案し、教育委員会で協議
	7		▸教育委員との意見交換会	▸教育課程編成
	8	▸予算要求準備	▸予算要求準備	▸教委委員会会議にて基本計画(素案)報告（学科編成、教育課程の概要含む） ▸予算要求準備
	9			▸議会にて基本計画(素案)報告
	１０		▸令和５年度入学者選抜 （～３月）	
	11			▸教委委員会会議にて基本計画(案)報告（学科編成、教育課程の概要含む）
	１２	▸令和６年度入学者選抜学力検査見本問題公表		▸議会にて基本計画(案)報告 ▸高校改革基本計画策定
	1			▸外部連携、学校設定科目、広報、生徒募集、職員会議の検討（～開校）
	2			
	3			
5	4	▸開校	▸開校	
	6			▸令和５年度教育課程完成
6	4			▸開校

※　市独自の入学者選抜については引き続き協議

※　必由館高校においては基本計画策定の向けた取組と並行して、「スクールミッション」、「学科編成」、「教育課程編成」等も検討を進める。附属中学校設置についても並行して研究を進める